

# あがたの森ストリートデザインワークショップ

第2回!!

第2回参考資料  
(あがたの森通りに関する調査・分析データ)

1. あがたの森通りの現状・特徴	～現地踏査に基づく状況・実態の把握～	p.1
2. あがたの森通り界隈の行動実態	～位置情報のビッグデータに基づく移動・滞留分析～	p.6

# 1. あがたの森通りの現状・特徴 ~現地踏査に基づく状況・実態の把握~

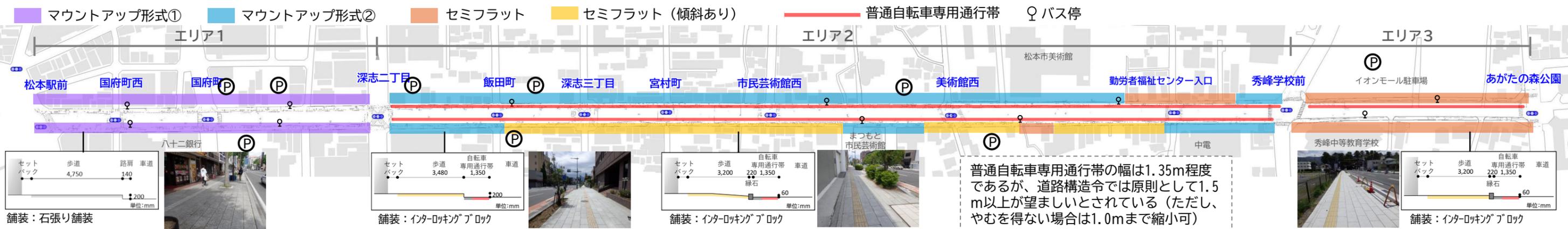
## 1) 歩道及び自転車通行帯の状況

### ①歩道構造及び自転車通行帯の設置状況

#### <形式>

#### ■第1回ワークショップやアンケートで出された意見

- ・歩道は広い
- ・街路樹等があり歩道が狭い
- ・普通自転車専用通行帯が狭い、駅前～深志二丁目間は未整備
- ・自転車が歩道を走る



#### <勾配>

#### ■第1回ワークショップやアンケートで出された意見

- ・歩道の傾斜が冬の凍結時、降雨後等に滑り危険



### ②歩道・自転車通行帯の劣化状況及び通行障害要素

#### ■第1回ワークショップやアンケートで出された意見

- ・舗装の浮き、割れ、段差、凹凸がある
- ・歩きにくい、スーツケースやベビーカー、車いすに不便



## 2) 歩道及び沿道敷地の緑の現状

### ■第1回ワークショップやアンケートで出された意見

#### <通りの目指す方向>

- ・緑陰がある通り、緑を活かした通り
- ・街路樹のある壮麗な道（大名町通利との役割分担）
- ・花と緑あふれる通り

#### <通りに必要なもの・こと・アイデア>

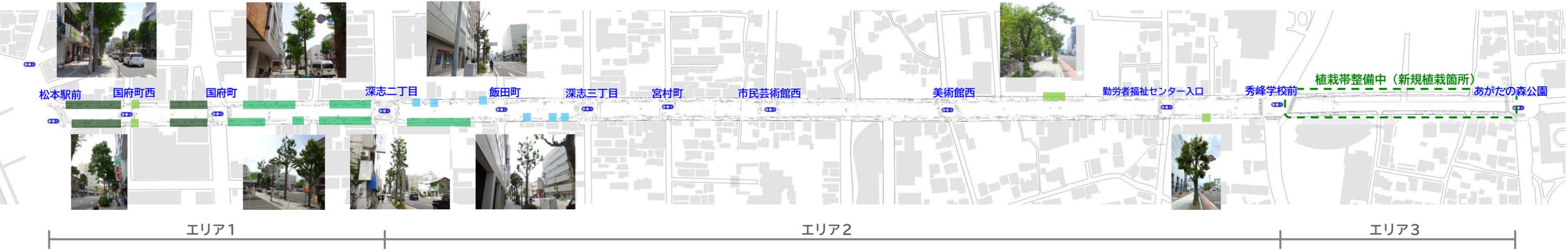
- ・緑の連続性
- ・日陰をつくる緑
- ・花が咲き、色味のある植物
- ・緑による経済への貢献

#### <通りの課題>

- ・日陰がなく夏は暑い
- ・緑にしたときの維持管理
- ・鳥のフン

### ①高木の植栽箇所とその緑量

■ 列植で緑量が多い箇所   
 ■ 列植だが緑量が少ない箇所   
 ■ 単木だが緑量がある箇所   
 ■ 単木で緑量が少ない箇所



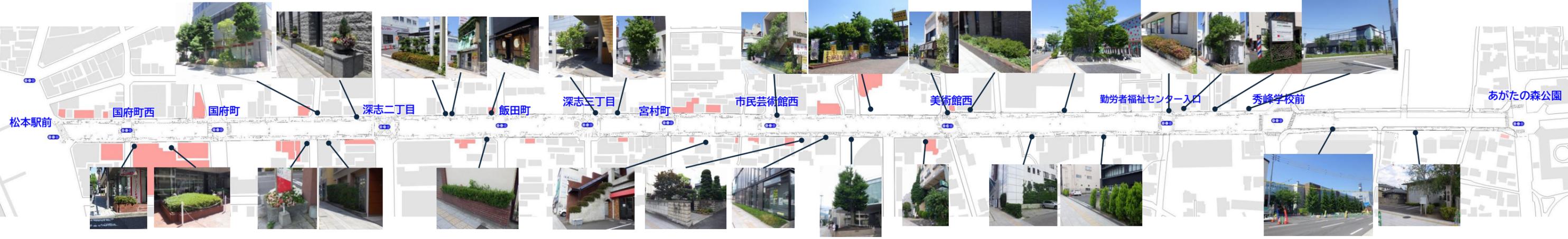
### ②中低木の植栽箇所

■ 中木   
 ■ 中低木   
 ■ 低木



### ③沿道緑化、店舗前緑化箇所

■ 1階に飲食店のある建物



### 3) 道路の附属物及びファニチャー類の現状

#### ①モニュメント類、案内サイン



#### ②照明灯

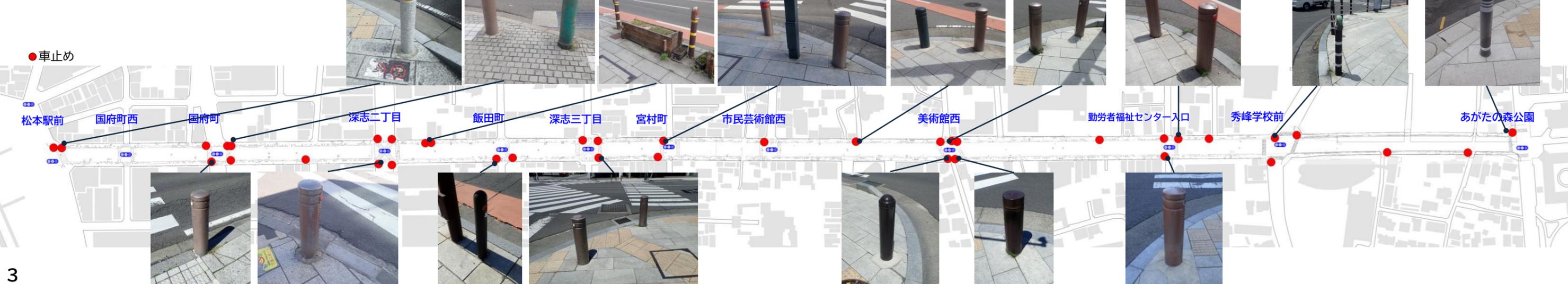
種類は6種類

Aタイプ：歩道用・商店街用	29基	Dタイプ：車道用その他	6基
Bタイプ：車道用+歩道用	28基	Eタイプ：歩道用その他①	2基
Cタイプ：フットライト	22基	Fタイプ：歩道用その他②	1基

- ・Aタイプはあがたの森通りのほかに周辺の道路にも複数整備されている
- ・Bタイプの支柱は信号機や道路標識などの支柱とデザインを揃えている



#### ③車止め



## 4) 沿道の建物及びオープンスペースの状況

### ①沿道建物の1階店舗の業種及び開口部の状況

#### ■第1回ワークショップやアンケートで出された意見

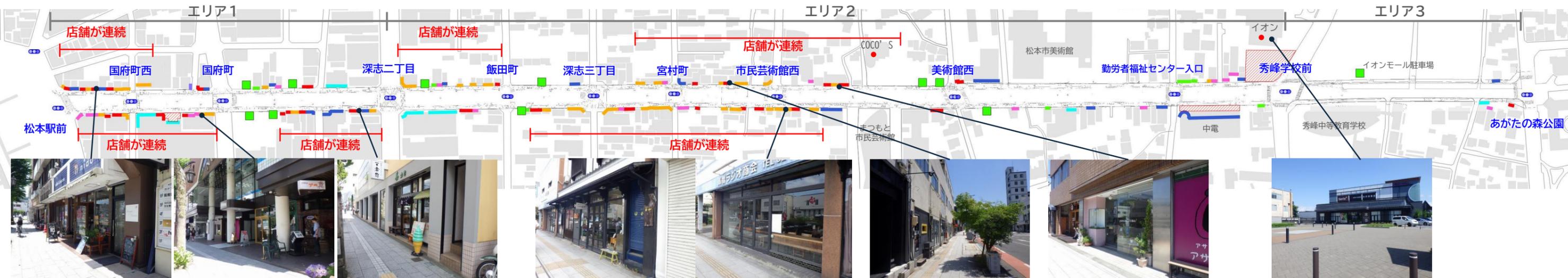
##### <現状、課題>

- ・美術館、芸術館、文化的な建物など沿道施設が充実
- ・沿道に個性的な店、公共施設（美術館、芸術館、あがたの森）が充実
- ・沿道にいろいろな店がある
- ・沿道に魅力的な店がない、店数が少ない、空き店舗が多い

##### <通りをよくするための要素>

- ・出かけたくなる仕組み、賑わいのスペース
- ・高校生や若者が過ごしやすい施設、魅力的なお店、商業施設、遊び場
- ・放課後に集まれる第3の場、学生が入りやすい施設、学習スペース
- ・無料の駐輪場、駐輪できる場、駐車場の拡充、無料駐車場

1階店舗の開口部（業種別） ■ 飲食店 ■ 物品販売 ■ 生活関連サービス・娯楽業 ■ 医療・福祉 ■ 金融業 ■ 技術サービス ■ その他事業所等 ■ コインパーキング



### ②沿道建物の壁面後退及び沿道のオープンスペースの状況

#### ■第1回ワークショップやアンケートで出された意見

##### <現状、課題>

- ・日陰やベンチがない
- ・休憩・滞留空間の不足（ベンチ、公園や広場、夏場の日除け等）

##### <通りをよくするための要素>

- ・イベント、イルミネーションなど季節による飾りつけ
- ・外国人観光客への対応（食、英語表記のサイン等）
- ・日除け、雨除け、ベンチが欲しい
- ・長野、松本を代表する素材（木）でベンチをつくる

■ 段差のない壁面後退 ■ 段差のある壁面後退 ■ オープンスペース・広場



# 5) 通りから見える景観

## ■第1回ワークショップやアンケートで出された意見

- ・景観の良さ（美ヶ原、山並み、一直線）
- ・景色や情景が良い（街並、夕焼け、街明かり、森、移り変わり）

### ①東側：美ヶ原エリア（王ヶ鼻、袴越山）

見えない    ほぼ見えない    一部見える    よく見える



### ②西側：大滝山、常念岳、大天井岳 など



## 2. あがたの森通り境界の行動実態 ～位置情報のビッグデータに基づく移動・滞留分析～

### 【分析概要】

2024年10月1日～31日（1カ月間）に松本城、松本駅、あがたの森を結ぶトライアングルエリア※をを訪れた人の位置情報をもとに移動実態を把握・分析。

（※松本まちなかグリーンインフラアクションプラン（松本市、令和5年度策定）にて設定された、グリーンインフラの取組みを先導的に進めるエリア）

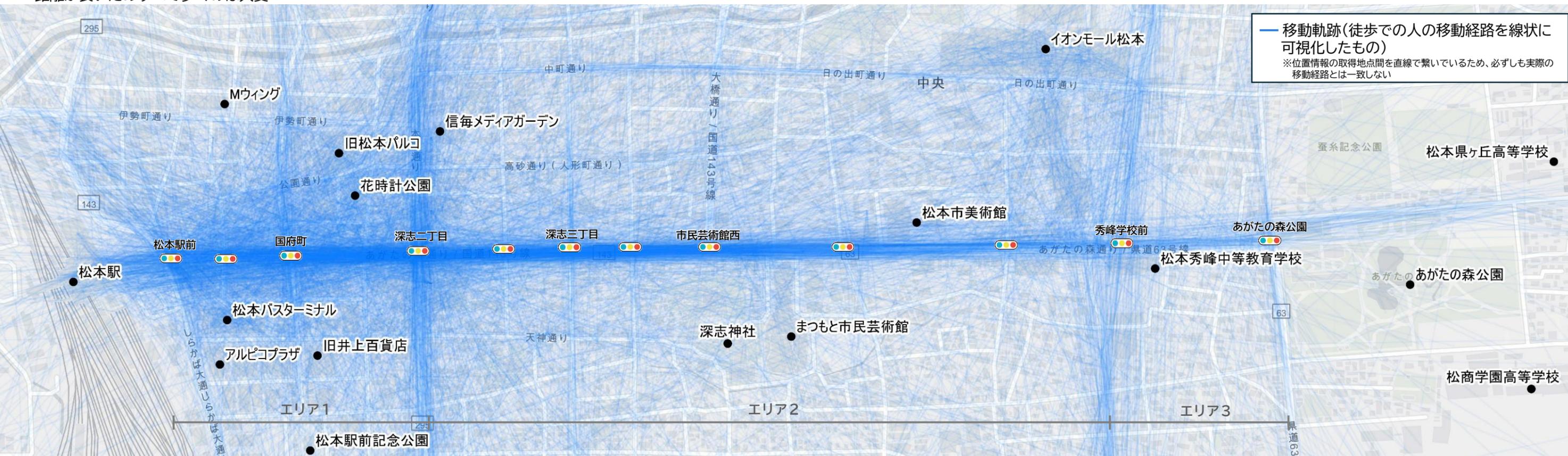
### 1) 人の動き（徒歩での移動の軌跡）の分析

#### ■第1回ワークショップやアンケートで出された意見

- ・歩道の幅は広い
- ・中高生がイオンモールを利用している
- ・距離が長いのですべて歩くのは大変

#### ■現状

- ・あがたの森通り全体としての傾向として、松本駅側の通行者数が多く、あがたの森公園側に進むにつれて徐々に通行者数が減少する傾向が見られる
- ・あがたの森通りを通行している人の中には、深志二丁目交差点などで曲がっている人も多いほか、イオンモールを目的地とする流れも一定程度含まれている



### 2) 滞在状況の分析

#### ■第1回ワークショップやアンケートで出された意見

- ・日陰やベンチがない
- ・魅力的な店、新しい店は沿道にもある

#### ■現状

- ・移動軌跡の傾向と同様に、あがたの森通りの中間地点では滞在が点的に分布している一方で、松本駅側に滞在が集中している傾向である
- ・イオンモールでの滞在も多く見られる

